

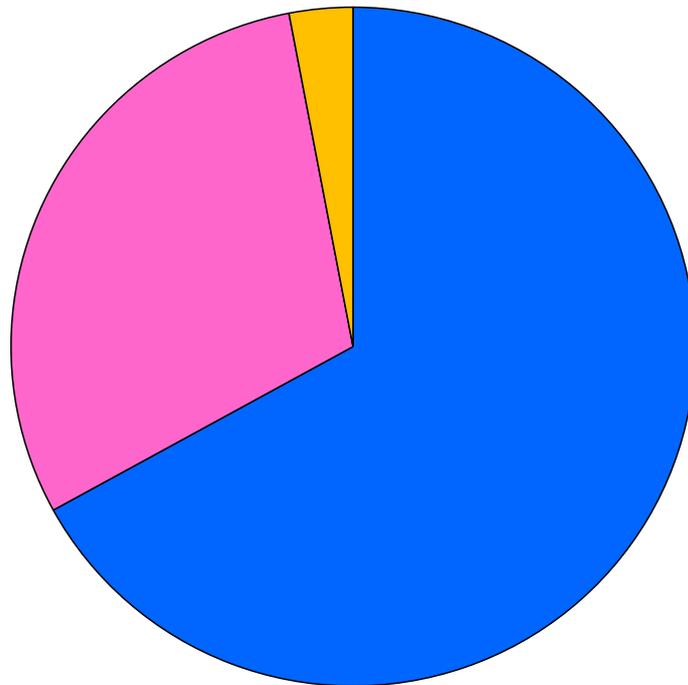
プログラム名 【ライブ配信】AVCC&KK² 特別講演会 2019
「ANAの破壊的イノベーション 『未来のエアライン』に学ぶ」

単元名 RA

アンケートタイトル 【ライブ配信】AVCC&KK² 特別講演会 2019
「ANAの破壊的イノベーション 『未来のエアラ

質問1 本日のプログラムの内容は、皆さまの仕事や働き方、考え方の参考になりましたか？

No	解答	人数	%
1	大変参考になった	20	67%
2	参考になった	9	30%
3	どちらでもない	1	3%
4	あまり参考にならなかった	0	0%
5	参考にならなかった	0	0%
合計		30	



質問2 【「AI社会における、最先端技術にどう触れていくか」伊藤 健二 氏】
ご意見ご感想をお願いいたします。（自由記述）

【自由記述】

- ・ これからの先進技術について触りとは思いますが、わかりやすく説明頂きました。
- ・ 普通だと思っていることにAIは存在していて、これから生活の中で、ますます必要不可欠な存在となっていくので、AIについて考える機会は今後も必要だと感じました。
- ・ 第4次産業革命の中において、データを基にして課題を解決することについて、もう少し時間を割いて説明をしてほしかった。
- ・ 技術はどんどん進化していくがそれをビジネスにつなげる発想力が必要だとおもった。なかなか難しいと思うが・・・
- ・ まさにANAの事例が良かったと思います。
- ・ AIを活用して生活を変えていくことと合わせて、仕事がAIによりどう変わって行くかも考えていけないと危機感を感じました。
- ・ 今のところ個人的には生活の中でAIを活用する機会はほとんどありませんが、いずれは使う機会がでてくると思うので、最先端技術にどう触れていくか考える機会になりました。
- ・ 大変興味深いお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・ AIや5G、ドローン、様々な新しい技術が身近にあることを改めて実感できました。どう活かしていくのかという問いかけは重要と感じました。
- ・ 若者を中心にSNSだけが浸透しているものの、マイナンバーカードの発行率がいまだに15%程度と低迷している日本では、AIどころかデジタル技術の社会インフラ化はまだ先の話かも知れません。
- ・ AIの登場によって、なおさら、人間とは何か、生きるとは何か、といった根源的な問いが問われていると思います。最先端技術にどうキャッチアップしていくかばかり考えていると、追っても追っても追いつけない。どう折り合いをつけて、最先端技術に触れていくかではないでしょうか。最先端技術に触れながら、芸術の世界にも耽溺する。たまにはスマホの圏外を歩き回る。そういうオンとオフのハイブリッド人生でしょうか。
- ・ ルンバまでAIだとは思っていなかったが、AIの範囲は広い 避けて通ってるとこの先、生きていき辛い世の中になるので、積極的に今から活用していくべきだと日々感じている。
- ・ ラグビーワールドカップ2019×5Gのお話と、Society5.0へつながるお話しが面白かった。
- ・ AIと叫ばれてからどのくらい経ったのか。society5.0は聞いたことはあるが4.0はあったのだろうか。便利な世の中になるのはいいが、使い方によっては脅威にもなるので法整備等をすすめて明るい未来を築いていければと思う。

- ・世界の中でどんな開発が進んでいるのか、日本がどんな立場なのかがわかりました。
- ・難しかった。
- ・現在、5Gの活用について検討を行っているのですが、AI、ARの活用等大変参考になりました。
- ・次回はAIを活用した先端技術の将来像に絞って講演してもらいたい。
AI先端技術と人はどの様に関わっていくべきか？
AI先端技術は人類に安心と幸福をもたらすか？
AI先端技術は人類の分断をまねかないか？

【自由記述】

- ・ANAは仕事でよく乗りますが、まったく見る目が変わりました。組織に対する考えかたふくめ、色々な意味で日本の先端企業です！
- ・avatarの素晴らしさを知る事が出来ました。ありがとうございます。
- ・次の時代を考える部署が、ANA内にあることを想像できませんでした。現状を維持して進むこと以外にも、皆で次を考えていく必要性を考えさせられました。ドローンで人を運ぶ時代、スピードある宇宙旅行、アバター、空を飛ぶタクシー。昔21世紀を想像していた未来の姿ですね。アバターに関しては、必要としている人がたくさんいると思います。実現がとても楽しみです。
- ・もともと航空業界に興味があったので楽しくお話をうかがいました。想像をはるかに超えたさまざまなアイデアが飛び出し、航空を軸として、教育から地方創生まで多方面への広がりが今後も期待できるんだなあと、とても新鮮な思いで聞きました。まずは、飛び出したアイデアをくみとること、出来ないと決めつけずに形にしていくことって大事だなあと感じました。
- ・柔軟な発想および新しい発想の必要性を痛感した。
- ・破壊的脅威は感じているところもあるので津田さんがいらっしゃる部署のように新規ビジネスを作っていけるような仕事をしたいと思った。
- ・とても楽しく受講しました。DD-Labのテーマ、夢の実現が軍事利用されない世の中であることを切に望みます。
- ・いろいろなことに挑戦していることに感銘しました。特にアバターは今後いろいろな分野で使えそうな気がします。
- ・夢物語と思ってその実現は無理と最初から諦めてはいけないと痛感しました。
- ・破壊的イノベーションのアイデア、それ生み出す企業体質、行動力に驚きました。また、企業とそこで働く人の魅力を感じました。ANA大学に娘を入学させたいです。
- ・いろいろな技術の発展等にわくわくしてきました。今後、さらに便利なものが身近になりそうで楽しみです。
- ・身近に感じる部分と自分の生活とはかけ離れているなと感じる部分はあった。
- ・新技術だけでなく、組織運営など多方面のお話をたっぷり伺うことができ、非常に勉強になりました。破壊的というキーワードは、津田様のお話のおかげで、未来に向けて必要不可欠、これまで当たり前であったことは通用しない、今の時代に生きる自分について少し客観的に見ることができました。自分自身の仕事にどう活かすか考えてみます。ANA AVATARもとても興味深かったです。テレビ会議と同じでは・・・と思いましたが、やはり、動く、そこにあるという存在感も今の私たちには重要なのだなと思いました。
- ・次世代の事業開発チャレンジを応援しています。MUFGデジタルイノベーション推進部のサンフランシスコ拠点を2016年に訪問したことがあります。FinTechのPOCをstartu

p企業と実施する際に契約書がIP知的財産の記載のため100ページを超えて、その法務確認で弁護士に払う訪問がPOCコストよりも高額だと言っていました。いろいろ大変だと思えますが、是非ともローンチされることを祈念しています。

・ ANAの自由度の高さに感激しました。物理学ではWeek Tieというそうです。もっとも遠いところにある弱いつながりが、次世代のブレイクスルーをもたらす。Week Tieという言葉は、暗号資産（仮想通貨）の研究者から、ブロックチェーンのからみで聞きました。ラボが取り組んでいるのがまさにこのWeek Tieの世界だと思えます。

・ アバターインは、事前に各所に配置されている機器にログインするイメージと思われるので、今後の普及の為にも本体価格がどう推移していくか気になる。またバッテリーは劣化する物なので、設置後2年3年でのバッテリー変更問題や、日々のメンテの要否等も気になる。

・ ANA AVATARの社会への実装は大変興味深い。日本の先端技術を追い求める企業では、優秀な技術屋さんが「こんなことができる」「あんなことができる」と技術オリエンテッドに考え、それを社会にあてはめ実装する傾向が強い。ANA Digital Design Labでは、リーダー型マネジメントではなくサポーター型マネジメントを取っている。全方位外交で最適なパートナーを選定するという考えに立ち、十数名のスタッフで多様なテーマに取り組んでいる。この仕事の仕方が最も興味深く面白かった。

・ ユニークな人選に始まり、ANAの信念に基づき様々な視点からプロジェクトを生み出していることに感銘を受けました。新しいプロジェクトと淘汰されるプロジェクトが年にどれくらいあるのか興味があります。アバターに関していうと技術的に新しいものではないが、使い方によって可能性が広がることを感じさせられたような気がします。

・ 未来の移動手段を考えた時、「どこでもドア」という発想と実際に東大の研究所まで足を運んで可能性を探るといふ、ANAデジタル・デザイン・ラボのユニークさにまず魅力を感じました。ロケットによる移動の実用化にも驚きました。当日は、アバターについて知りたいと思い、参加致しました。少し懐疑的に見ておりましたが、お話の内容はそれまでの印象をいい意味で覆すものでした。それはただ便宜性や効率性のためでなく、人とのつながりや豊かさの追求を基本に、活用の仕方が考えられていると思ったからです。まだまだこれから面白いことがたくさん起こる、新しい時代を見てみたいと思いました。とても刺激を受けました。ありがとうございました。

・ AVATARは今後様々な分野での利用に期待が持てます。

・ 多岐にわたっての説明があり、興味深く聞かせていただきました。

・ 講師の津田様の話術に引き込まれました。現在検討している防災情報の提供手段の一つとしてもアバターが役に立ちそうに感じました。

・ ANAの未来を見据えた取り組み領域が航空機による人の移動事業から宇宙、アバター等の領域に広がっている事に驚きを感じた。

・ サポーター型マネジメントに於けるマネージャーに求められる資質とサポーターに求められる具体的能力について次回是非お伺いしたい。

質問4 KK²でこれから開催するプログラムについてご興味のあるものがございましたら教えてください。（択一式）

No	解答	人数	%
1	12月12日(木) 第54回 エキスパート・スタジオ 航空業界 人事事務職 俣野 公利さん (ANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社 働き方企画部 採用担当マネージャー)	9	30%
2	1月22日(水) 第八回 霞が関坐禅会 ～自分自身と向き合ってみよう～	15	50%
3	2月15日(土) 第23回 しごと力道場 ～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～	3	10%
4	興味はない	3	10%
合計		30	

